（第3種郵便物認可）　日刊工業 6/14　　日刊工業新

地方産学官に活用

東大が会員制コミュニ

DVDで地域格差

第1弾 情報セキュリティー

大学教員が特定テーマの研究会を開くことは多いが、遠隔地からは参加しにくい。東京開催の単発シンポジウムの最新情報は、地方には講演冊子でしか伝わらない。そのため、東大CCRは年5回など継続的にシンポジウムを開き、DVDや録画ビデオを作製し数週間内に全国配布する。

大学産学連携

何が重要でどんな対応策が必要か、といった情報を浸透させる。一般向けの理解を高める資料作成など、社会理解向上のための活動も行う。年会費は実費分として個人は1万円、団体・法人は一口5万円に抑えた。

「情報セキュリティコミュニティ」は安田浩CCR教授がリーダー。バイオ認証システム、e文書法と電子文書流通などは機関を問わないテーマだ。企業向けでは災害・

大 福島 共生システム理工学類

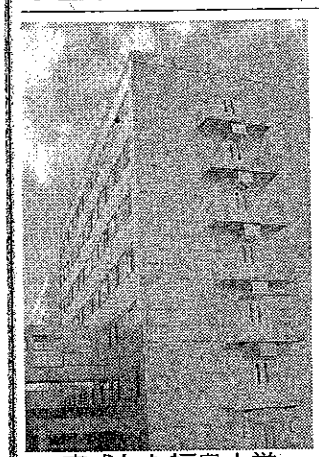
研究実験棟を完成

【福島】福島大学は共生システム理工学類の研究実験棟を完成、植栽など周辺整備をして7月に完工式を開く。授業は一部で開始しており、順次、実験に使用する。共生システム理工学類は05年度に新入生を迎え、2年目から各種実験が始まることから研究実験棟の建設を急いでいた。

完成したのは地上7階建て延べ3861平方㍍で、各階ごとに産業システム、CAD/CAM実習、環境システム、環境分析などに分かれている。1階は機械加工室で三次元測定機やマシニングセンター（MC）などが据え付けられ、MCは2階のCAD/CAM室とコンピューターでつながっている。1階の機械加工室は地元産業界にも開放する考えだ。

すでに4階の化学実験室では授業での使用が始まった。

研究実験棟は工事費10億円で、鹿島が施工、電気設備の大槻電設工業（福島市）をはじめ、工作機械納入のエイティック（同）など地元企業が数多く参加している。



完成した福島大学共生システム理工学類の実験棟

客員教授に元GE会長

双方向で遠隔教育

ビジネス・ブレークスルー大学院大

ビジネス・ブレークスルー大学院大学は米・ゼネラルエレクトロリック（GE）社の元会長兼最高経営責任者（CEO）であるジャック・ウェルチ氏を客員教授に招き、同氏との連携で新部門「ジャック・ウェルチ・インスティテュート」を設立した。同氏は6カ月間のマネジメント科目を担当し、双方向型のブロードバンドによる毎週の講義、全世界の受講生との議論や質疑応答を行う。同氏によるインタラクティブな遠隔学習の機会はほかになく、貴重なプログラムといえる。

ウェルチ氏はビデオ・オン・デマンド（VOD）方式のブロードバンド放送による映像講義に加え、双方向型の遠隔教育システムで討論やQ&Aを指導する。集中・公開型の科目で、受講生はビジネス・ブレークスルー大学院大学の在籍者に限らない。米国のエグゼクティブ向けセミナー運営会社、HSM社を通じて、国を超えたビジネス・パーソンがGEを時価総額世界トップに育てた同氏をネット上で囲んで議論する。

言語は英語。受講料は5000ドル。修了時に同氏と同大学による認定証を授与する。詳細はホー

岩手大 金型・鋳造工学専攻」の実習部門

北上市と奥州市に開設

【盛岡】岩手大学は4月大学院工学研究科に新設した「金型・鋳造工学専攻」の実習部門となるサテライトを岩手県の北上市と奥州市に14日開設する。

北上市には金型のサテライトを設置する。北上オフィスプラザの北上市貸研究工場棟に、マシニングセンター、ワイヤ放電加工機、射出成形機などを備えている。

また、北上市から同大学に対して、精密金型技術の高度化に関する実用化研究と高度技術者育成を目的として、2010年度までの5年間にわた

即戦力保証し

ITの実務スキ

早稲田大学とNPO法人の実務能力認定機構（ACPA＝アクパ、東京都新宿区、坂元昂理事長、03・5273・9127）は、産業界が求めるIT分野の実務スキル講座や関連機関を認証し、受講した学生を認定する事業を始めた。人材不足のIT分野で、学生の即戦力を保証し就職を後押しする。早大では06年度に30科目（140ク

連携・研究推進組織を再編

立命館大

立命館大学はびわこ・くさつキャンパス（BKC、滋賀県草津市）での理工系産学官連携を推進してきた「BKCリエゾンオフィス」と「BKC